

平成 29 年度 事業計画

(H29年2月27日理事会承認)

本県の雇用情勢は平成26年度後半以降から改善傾向にあり、平成28年度も1倍を超える水準を維持している一方で、県内企業においては人材不足が深刻化してきている。

このため、平成29年度においても、国や鳥取県など関係機関と連携しながら、県内移住希望者への移住及び就職支援を積極的に行い、引き続き県内企業等の「人財」確保と県外からの移住定住の促進を図っていく。

I 雇用環境の整備の推進 【予算額 99,528 千円(他会計への繰出を除く)】

＜繰出を含めた総額 156,764 千円＞

県外の大学等卒業予定者及び一般のUターン等就職希望者は、本県産業を担う貴重な人材であることから、引き続き、県内企業の求人開拓を行うとともに、県外の求職者に対しても県内企業の求人情報を提供する。

1 無料職業紹介の実施

【事業の目的・概要】

県内3地区の就職コーディネーターが企業訪問等により求人情報を収集するとともに、人材バンクシステムに登録している求職者の就職相談に対応しながら職業紹介を行う。

【平成29年度の事業内容等】

①県内3地区に就職コーディネーターを配置

- * 県内企業の求人情報を収集するとともに、県外の就職コーディネーターと連携しながら I J Uターン就職希望者の就職相談に対応
- * 鳥取県立ハローワークと連携した機能強化
- * 未内定学生に対する就職支援の強化

②無料職業紹介の実施

- * 人材バンクシステム登録者との就職相談を通じて、希望や適性などが合致する企業の求人に対し無料職業紹介を行う。
 - ・ 無料職業紹介 目標件数 250件 (H27年度299件、H28年度(1/31現在)206件)
- * 求人情報の収集の強化
 - ・ 求人登録 目標件数 1,300件 (H27年度1,292件、H28年度(1/31現在)1,499件)
- * 職業紹介責任者の登録 2名

2 「とっとり仕事・定住人材バンクシステム」の周知・普及

【事業の目的・概要】

「とっとり仕事・定住人材バンクシステム」を基幹ツールとして、県外の大学等進学者や一般求職者に対し県内企業の求人情報等を提供するとともに、県内企業に対し求職登録者の情報を提供する。

【平成29年度の事業内容等】

①バンクシステムの周知・登録促進

- * 平成28年度に改修した「とっとり仕事・定住バンクシステム」や、学生向けの「とっとり就活ナビ」の周知及び登録勧誘

- * 県教委等と連携して保護者にもバンクシステムを周知
- * 新聞等広報媒体を活用したバンクシステムの周知
- * 企業ガイダンス等の場で就職活動中の大学生等への登録勧誘
- * バンクシステムの定期的なメンテナンスを行い、最新の就職情報を提供
(年2回、5月・9月実施予定)

②提供情報等の充実

- * 提供する求人情報の細分化やカテゴリの充実等

③県外に進学した学生及び保護者に対する情報提供（県商工労働部と連携）

- * 定期的に県内企業等の情報を発信（年に2回程度）
- * バンクシステムの周知及び登録勧誘
- * 大学の保護者会での情報提供（H28年度23大学）

3 鳥取県立ハローワークとの連携

【事業の目的・概要】

平成29年7月に開所予定の鳥取県立ハローワークと連携し、I J Uターン者に対する就職等に関する相談体制の充実を図ることにより、県内企業等の人材確保に資するとともに、県外からの移住定住の促進を図る。

【平成29年度の事業内容等】

- ①当財団が運用している「とっとり仕事・定住人材バンクシステム」と鳥取県立ハローワークの「求人・求職者情報システム」の統合
- ②県立米子ハローワーク、東京及び大阪の窓口と連携した、移住希望者への情報提供と相談体制の一層の充実

4 人材・求人情報の収集・管理・提供等

【事業の目的・概要】

県内企業の魅力を紹介する情報誌「とりぶ」や元気な県内企業を掲載した「企業ガイド」の配布及び新卒求人情報「とっとり新卒就職ナビ」などにより、県外の大学等進学者や一般求職者に対し、様々な就職関連情報等を提供する。

【平成29年度の事業内容等】

- ①就職コーディネーターによる、県外大学等に進学した県内出身の学生等を対象としたUターンのきっかけとなる情報の発信を強化し、Uターン就職・移住定住の促進を図る。
- ②各種就職関連情報の提供
 - * Web情報誌「とりぶ」による元気な県内企業の紹介（毎月1社/年12回）
 - * 財団ホームページやfacebook、LINE等SNSを活用した就職関連情報の発信など
- ③企業ガイドの作成・配布
 - * 企業の概要や求人情報を掲載した企業ガイドの作成・配布
 - ・Web版（スマートフォン含む）を財団ホームページへ公開
 - ・冊子版 1,500部
 - 〔配布先〕県内外の大学、専門学校、県内高校、希望者、掲載企業など
- ④「とっとり就活ナビ2018」での新卒求人情報提供
 - * 県内企業の求人情報をホームページに掲載
 - ・掲載開始時期 H29年3月1日
 - ・掲載目標企業数 200社（実績：H27年度272社、H28年度(1/31現在)139社）
- ⑤県外大学への働きかけ

＊県と連携した県外大学との就職協定の締結推進

(参考) 鳥取県と連携した県外大学等との就職協定の締結状況 (H29年1月現在)

区 分	包括協定	就職支援協定	
大学名 (締結時期)	明治大学 (H21..3)	★神戸学院大学 (H26.2)	
	龍谷大学 (H22.7)	★立命館大学 (H26.7)	
	★京都女子大学 (H27.6)	★武庫川女子大学・同短期大学(H26.7)	
	★京都産業大学 (H28.10)	★関西大学 (H26.11)	
	(注) ★は、定住機構とも協定を 締結している学校		★同志社大学 (H27.7)
			★兵庫医療大学 (H27.10)
			★美作大学 (H28.8)
			★神戸電子専門学校 (H28.9)
	★神戸女子大学 (H29.1)		

＊県内から進学している学生がいる県外の大学を訪問し県内の求人情報等を情報提供

- ・ 関東圏の各大学 (60 校) ・ 関西圏の各大学 (120 校)
- ・ 岡山県・広島県の各大学 (岡山県 12 校、広島県 10 校)
- ・ その他中四国の各大学 (5 校)

(H29年1月末現在)

II とっとり移住定住支援事業の推進 【予算額 159,754 千円】

鳥取県移住定住サポートセンターを拠点に、県外から鳥取県へのI J U(移住)ターン希望者の相談に対応するとともに、県内外で開催する相談会・セミナー・ツアー等への参加を通じて、鳥取県へのI J Uターンを働きかける。また、I J Uターン就職者に対する住居等の移転費用の助成など各種助成制度を活用し、円滑なI J Uターン就職を促進していく。

1 県外での就職・田舎暮らし等に関する相談対応

【事業の目的・概要】

県外からのI J Uターン希望者を対象に、鳥取県へのI J Uターンを促進するため、「鳥取県移住定住サポートセンター」を設置し、鳥取県での就職・移住定住・田舎暮らし等に関する相談及び情報提供をワンストップで行う。

また、平成28年度に「移住相談者登録システム」を「とっとり仕事・定住人材バンクシステム」とリンクさせたことにより、より緊密に就職コーディネーターと連携しており、年々増加する移住相談者に対し就職と移住が一体となった対応を行う。

【平成29年度の事業内容等】

①鳥取県移住定住サポートセンターの運営

*財団本部に移住コーディネーターを4名配置し、関係団体と連携して、県外からの移住定住に関する相談及び情報提供を行う。

*就職コーディネーターによる、県外大学等に進学した県内出身の学生等を対象としたUターンのきっかけとなる情報の発信を強化し、Uターン就職・移住定住の促進を図る。(再掲)

②県外窓口の運営(東京・大阪)

*鳥取県東京・関西本部に就職コーディネーターを各1名配置し、就職相談に対応するとともに、関西圏の大学の就職担当部署へ鳥取県の就職情報の提供等を行うコーディネーターを関西本部に1名配置する。

*鳥取県東京・関西本部に、移住コーディネーターを各2名配置(うち各1名は、平成28年度から、新たにファイナンシャル・プランナーの有資格者を配置)し、移住希望者個々人に合った移住後のライフプランの提示などをはじめ、移住定住・田舎暮らし等の相談に対応するとともに、鳥取県等が主催する各種イベントに積極的に参加し、とっとり暮らしをPRするとともに、移住相談等に対応する。

③ふるさと回帰支援センターとの連携強化(東京・大阪)

*ふるさと回帰支援センターとの連携を強化するため、休日相談会などを可能な限りふるさと回帰支援センターで開催するとともに、東京センター内に県が配置している鳥取県専任相談員と連携して、移住希望者からの相談に対応する。

2 就職相談会・移住定住相談会等の開催

【事業の目的・概要】

I J Uターン就職相談会の開催や移住定住相談会等への参加を通じ、鳥取県へのI J Uターンを積極的に働きかけていくとともに、県内企業と関西圏、首都圏及び中四国の大学等との情報交換会を開催する。

また、岡山県と連携し、首都圏等からの移住希望者に対し両県の魅力を発信するためのツアーや相談会を合同で実施するとともに、新たに、兵庫県(但馬地域)と合同で相談会等を実施する。

【平成29年度の事業内容等】

①とっとり・しまね企業ガイダンスの開催

* (公財) ふるさと島根定住財団と共同で実施・開催日及び場所

東京会場	広島会場	大阪会場
3月11日(土) 日本橋プラザ (東京都中央区日本橋)	3月25日(土) 基町クレド (広島市中区)	4月16日(日) 大阪国際会議場 (大阪市北区中之島)

*東京及び広島会場(3月開催)については、平成28年度予算で執行する。

*次回(2019年卒向け)においては、大学生等の採用選考広報(採用を目的とした情報を学生に対して発信する)活動時期に合わせ、12月または、3月に開催する可能性があり、12月、3月開催となった場合は本年度予算で執行する。

② I J Uターン相談会(東京・大阪)の開催

*首都圏・関西圏在住のI J Uターン希望者を対象に、企業による求人説明や就職・移住定住の相談をワンストップで行う相談会を開催

- ・開催時期及び場所 [就職×移住] 6月(東京)、6月(大阪)
[移住] 1月(東京)、3月(大阪)

③企業紹介フェアの開催

*主に県外から帰省中の大学3年生以下を対象に、県内企業が企業プレゼンテーション及び企業ブースごとの会社説明を行い、県内企業の魅力を紹介する。

- ・開催時期 12月
- ・場 所 鳥取会場

④ミニ相談会等の開催

*首都圏・関西圏のI J Uターン希望者に対し、市町村等関係機関や県外から鳥取県へ移住された方と合同で鳥取の魅力等を伝えるための休日相談会等を開催するとともに、鳥取暮らしを体験していただくための移住希望者のニーズに沿ったオーダーメイド型ツアーを実施し鳥取県へのI J Uターンを働きかける。

- ・休日相談会(市町村等参加) 年20回開催(東京10回、大阪10回)
- ・平日出張相談会 年24回開催(大阪)
- ・ナイター相談会 年18回開催(東京12回、大阪6回)
- ・体験ツアー オーダーメイド型の実施(来県交通費の助成)

⑤企業・大学関係者情報交換会の開催

*県内企業の人事担当者と大学の就職担当者の意見交換を行い、鳥取県へのI J Uターン就職に結びつける。

- 7月: 関西圏の大学関係者(大阪会場) 7月開催のBIG相談会午前中開催予定
- 11月: 関西圏、首都圏及び中四国の大学関係者(鳥取会場) 2日間で3回予定

⑥就職準備ゼミ(大阪)

*鳥取県へのI J Uターンを検討している学生に対して、就職に早期に取り組むための準備と、Uターン就職を実際に行った現役大学生の話聞くことで就職活動に役立たせる。12月開催予定。

⑦ふるさと回帰フェア(ふるさと回帰支援センター主催)などの移住定住イベントへの参加

*主に首都圏や関西圏で行われる移住相談会に参加し、鳥取県の魅力等をアピールする中で鳥取県へのI J Uターン(就職・移住)を働きかける。

- ・参加回数 年7回程度

⑧就職フェア・企業ガイダンスに併せた「就活バス」の運行

*とっとり・しまね企業ガイダンス(県外)に併せて、岡山・山口から会場(広島・大阪)へ送迎する就活バスを運行し、参加者の利便向上と参加促進を図る。

- ・運行日等: 大阪会場行(4月16日(日)運行)⇔岡山駅発

- 広島会場行（3月25日（土）運行）⇔岡山駅発、山口大学発
- * 広島会場行（3月運行）については、平成28年度予算で執行する。
 - * 次回（2019年卒向け）においては、大学生等の採用選考広報（採用を目的とした情報を学生に対して発信する）活動時期に合わせ、12月または、3月に開催する可能性があり、12月、3月開催となった場合は本年度予算で執行する。

3 I J Uターンの発信

【事業の目的・概要】

就職及びとっとり暮らし等移住定住関連情報を発信する。

また、平成28年度から始まった、鳥取県への移住を検討される県外在住者への情報・サービスの提供を目的とした「とっとり移住応援メンバーズカード」を発行するとともに、協賛企業の開拓に努める。

【平成29年度の事業内容等】

① 県外のイベント等の周知広報

* インターネットや新聞広告、メール配信等を活用した広報

〔PRする主な事業〕

- ・ とっとり・しまね企業ガイダンス

< 3/11 東京、3/25 広島 *H28 予算で執行、4/16 大阪（ふるさと島根定住財団と共同開催） >

- ・ I J Uターン相談会など

< 〔就職×移住〕6月（東京・大阪）、〔移住〕1月（東京）・3月（大阪）に開催予定 >

- ・ 県内就職フェア（5・8・12・2月に開催）など

② 全国誌等での鳥取県PR

* 「いなか暮らしの本」（年6回）などで、年間を通じて鳥取県の魅力をアピール

③ テレビコマーシャル等による財団事業の周知

* 県外に在学する大学生等が地元へ帰省する時期に、テレビコマーシャル等のマスコミ媒体を利用した広報で、Uターン就職が魅力的だと訴えることにより、学生の内就職及びUターン就職を促進する。また、県内企業の求人情報などを多数持っており相談体制が充実している当財団をPRし、知名度アップを図る。

- ・ 実施時期：年末年始、3月（冬期休暇時期及び春期休暇時期）

④ 「とっとり移住応援メンバーズカード」の発行

* 鳥取県への移住を検討している県外在住者に対し、民間企業や市町村等と連携した「とっとり移住応援メンバーズカード」を発行し、各種サービスを提供する。

・ 登録者数：552人（平成29年2月20日現在）

・ 協賛店舗数：約1,100店見込（平成29年2月20日現在。）

〔提供するサービス〕

- ・ 移住の事前検討に必要な情報の提供（メールマガジン、ダイレクトメール等）

< 住まい、仕事、子育て・教育環境等の行政からの情報提供、優待商品やサービス等の情報 >

- ・ 移住前後に利用が見込まれる商品・サービス等の優待（民間企業の協賛）

4 I J Uターンに向けた各種助成

【事業の目的・概要】

I J Uターン就職者に対する住居の移転費用を助成するほか、I J Uターン求職者を対象に県内企業見学会に参加するための交通費等を助成する。

また、移住希望者の新規開拓に係る民間活動推進事業に要する経費の補助を行う。

【平成29年度の事業内容等】

- ① I J Uターン就職者への住居移転費用等の助成
- ②企業見学会参加者への交通費の助成
- ③民間活動推進事業費補助金の運用

Ⅲ 国受託事業の推進【予算額 46,485 千円】

若年者を取り巻く雇用環境は、フリーターがいまだに多い状況にあり、早期離職率も高水準で推移している。また、求職者ニーズと求人雇用形態などミスマッチの問題もある。このため、県、労働局が設置している鳥取、倉吉及び米子の「若者仕事ふらざ」において、雇用対策関連事業を推進する。

1 就職フェア（県内）、企業紹介フェア等の開催

【事業の目的・概要】

大学等の新規卒業予定者、一般求職者及び卒業後未就職者に対し、多くの県内企業を知り、面談できる就職フェア等機会を設定する。

【平成29年度の事業内容等】

①就職フェア

- ・開催時期 5月、8月、2月
- ・場 所 5月：鳥取・倉吉・米子各会場
8・2月：鳥取・米子会場

*企業プレゼンテーション（5・8月）や直前対策セミナーを同時開催

*就職フェア（5月）に併せて県外から鳥取県への就活バスを運行し、参加者の利便向上と参加促進を図る。（大阪→鳥取・米子）

②企業ガイダンスの開催

- ・開催時期 3月
- ・場 所 鳥取会場（新規）、米子会場

2 雇用対策関連セミナー等の開催

【事業の目的・概要】

若年求職者やフリーター等を対象に、職業意識の高揚や面接の受け方など正規雇用に向けた研修を実施する。

また、若手社員や新規採用者及び企業の人事管理担当者を対象に、双方の認識のずれを解消し早期離職防止など職場定着を図ることを目的とした研修を実施する。

【平成29年度の事業内容等】

①土曜セミナー

- ・開 催 通年土曜日 年72回
- ・場 所 鳥取、倉吉及び米子の若者仕事ふらざ内
- ・対 象 一般求職者及びフリーター等

②若年労働者の職場定着促進セミナー

若手社員セミナー

- ・開催時期 9月
- ・場 所 鳥取・倉吉・米子各会場各2回

人事管理者セミナー

- ・開催時期 10月
- ・場 所 鳥取・倉吉・米子各会場

③社会人フォローアップセミナー（早期離職防止研修会）

- ・開催時期 7月
- ・場 所 鳥取・倉吉・米子各会場各2回

3 高校生に対する企業説明会等の実施

【事業の目的・概要】

県内企業の事業主を対象に、新規高卒者の採用拡大を働きかけるとともに、新規高卒者に対し、県内企業が会社概要や業務内容等を説明する事業所説明会及び就職面接会を実施する。

また、高校生の就職内定者等を対象に、社会人としての心構えを再認識させることにより、早期離職を防止することを目的とした研修を実施する。

【平成29年度の事業内容等】

①新規高卒求人事業所説明会（新規高卒者就職面接会）

・開催時期 7月、10月

・場 所 7・10月：鳥取・倉吉・米子各会場

*就職活動の基本姿勢等を再確認するためのセミナー（7月）を同時開催

②高校生（就職内定者）のための就職セミナー

・開催時期 1月

・場 所 鳥取・倉吉・米子各会場

Ⅳ 法人の運営・管理の運営・管理 【予算額 13,875 千円】

【平成29年度の事業内容等】

①評議員会の開催

＊決算の認定、その他重要事項の決定等（年3回程度開催）

②理事会の開催

＊予算・事業計画、運営方針等の決定（年4回程度開催）